

オレ・オラスタジアム



2019年度卒業生号  
発行:FCムサシ  
http://ole-musashi.com/  
パス: musashi634

### 卒業生からの近況報告

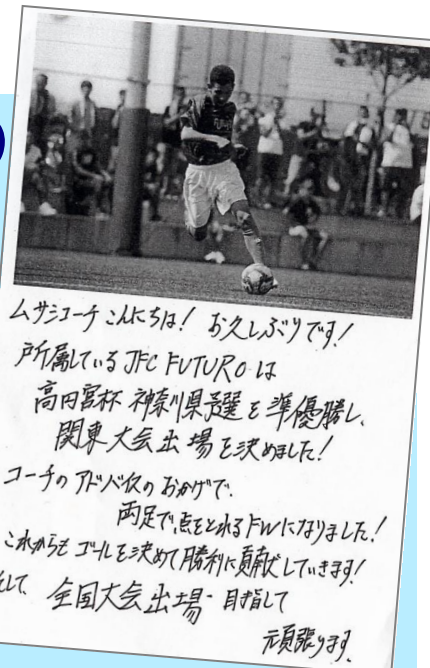
先日、ムサシでサッカーをしていた姫野恒太君(中3)からハガキが届きました。現在所属しているチームでの関東大会出場が決まったこと、ムサシでサッカーしていた時のコーチのアドバイスもあり両足で点を取れる選手になったことなどの報告をいただきとても嬉しく思いました。

日頃ムサシの練習でも利き足だけではなく反対の足でも練習する機会を作るようにしています。それは大好きなサッカーをもっとうまくするため、自分のイメージしたプレーをするためにも、できるプレーの幅を広げることがとても重要だからと感じているからです。昨年タジキスタン代表としてU17W杯に出場した時、アジアや国内では利き足だけで通用していても世界のトップチームと戦う時にはパスやシュートコースを簡単に塞がれてしまうという経験をしました。サッカーレベルがどんどん上がっている近年、両足使うことの重要性も高くなっていると思います。

また、サッカーのプレーだけではなく、得意ではないことにもチャレンジする気持ちも大切だと思っています。小さい頃からサッカーを通して楽しみながら挑戦する経験をしていると、得意ではないことにチャレンジしてできた時の喜びを知っていたり、苦手と思っていたこともやってみたら意外と簡単にできたり、様々な分野で自然と何かにチャレンジすることができるようになると思います。

姫野君は神奈川県の高豪校、東海大相模に進学してサッカーを頑張るそうです。コーチ達も活躍を期待しています。そして卒業生の皆さんも是非、これからの活躍をコーチ達にも教えてください。応援しています！

スーパーバイザー 水島武蔵



ムサシコーチさんへ！お久しぶりで！  
所属しているFC FUTUROは  
高田杯 神奈川県予選を準優勝し、  
関東大会出場を決定しました！  
コーチのアドバイスのおかげで、  
両足で点をとれる選手になりました！  
ムサシでサッカーを始めて勝利に貢献して、  
そして 全国大会出場 目指して  
頑張ります！

- 青木 大選手
- 浅井 颯太選手
- 市川 匡祐選手
- 岩間 柊介選手
- 薄葉 淳和選手
- 大下 陸選手
- 大野 雅貴選手
- 菊地 陽太選手
- 倉田 圭汰選手
- 近藤 毅大選手
- 塩澤 翼選手
- 竹田 裕星選手
- 多田 一汰選手
- 種田 瑛斗選手
- 辻山 洸之介選手
- 中澤 大晟選手
- 永田 大和選手
- 縄島 幸彦選手
- 平野 洸太選手
- 藤 綾音選手
- 細野 流風選手
- 水野 竜斗選手
- 矢野 広樹選手
- 渡邊 礼選手

## 新たなステージへ羽ばたくムサシの卒業生たち 卒業おめでとう！

子供たちは日に日に逞しくなり、気がついてみればもう卒業。あっという間の月日のようにも思えますがムサシで過ごした時間は長いので9年、思い返してみると様々なことを体験・経験してきました。自ら考えて行動すること、コミュニケーションの大切さ、仲間を思いやる気持ちなど楽しいサッカーの中に「学び」がたくさんあったと思います。何年も続けたサッカーの仲間だからこそ言いにくいことも要求することができ、認め合い、信頼を築いたことは自信にもつながると思います。6年生にとってムサシで過ごす最後の年となった今年のテーマは『コレクティブ』でした。目標を達成するためにチームとして協力する。下級生に対してアドバイスする6年生の姿をコーチ達はとても頼もしく思っていました。また、学年を越えた交流があるクラスだからこそ上の学年の子をリスペクトし、上の学年の子は下の学年の子に思いやりを持って優しくサポートするという関係が自然に築かれていました。この『人間力』は新たなステージや国際社会でも求められるものだと思います。

卒業生のみなさんは、これからいろいろな道に進んでいくことと思います。卒業を迎えるまでの道のりの中には、「辞めたい」と思うこともあったかもしれませんが、いろいろなことを乗り越えながら、最後までやりとげたその経験は、目には見えないけれど貴重な財産になることと思います。サッカーを続ける人もそうでない人も、ムサシで頑張りがめいたことに誇りを持って、それぞれの分野での活躍を期待しています。最後までサッカーをやりとおした君たちを誇りに思います。ムサシをはなれても、ずっと成長を楽しみに応援していますので、たまには遊びに来てください。

ご家族の方々にもお礼を申し上げたいと思います。毎週の送迎や応援、6年生までサッカーを続けることができたのは、理解あるご家族の存在あってのことです。また、家族でサッカーを中心とした時間を楽しむということが定着したご家庭もあるかと思います。お子様の成長とともに形は変わるかもしれませんが、これからも、家族でサッカーやスポーツを楽しんでいただければと思います。

\*Parabéns(パラベンス)とは、ポルトガル語で「おめでとう」の意味です。

スーパーバイザー 水島武蔵・コーチ一同

自分が上手ではない。ではどうすれば勝てると思ったときに思いついたのは声をたくさん出すことでした。「切り替え、切り替え」や「右空いてるよ」などの声かけでチームの雰囲気は、変わります。このようなことばかりが勝てやすくなることをムサシで学びました。この貴重な経験をまたいかに役立てたいです。ありがとうございました。

↑薄葉 淳和君から ご家族(お母さま)から！  
お友達に誘われてムサシでサッカーがやりたくて始めたのが小1の秋でした。私が仕事をしていたお父様が学校から帰ると自ら準備をし自転車で練習に行き、帰ってくる時に頼むしを覚えていました。ムサシで学んだ自主性やチームで頑張ることを忘れずにこれからの人生を大きく歩んで欲しいと思っています。コーチの皆様、素敵な時間をありがとうございました。



技術もしっかり兼ね備えています！プレーでもクラスを引っ張ってくれました。後輩からも憧れられる6年生でした。



2020年冬のグラウンドで6年生コンビ 右が淳和君

### ムサシで過ごした時間



左が陽太君 サッカーを始めた頃 園庭で

↓菊地 陽太君から  
こんにちは。ムサシでいてよかったことはいかに「上達」したことですか。上達した理由はコーチもありますが仲間と一緒にプレー練習したからだと思います。ムサシについて悪いことは一つありません。とにかく中間というところがとにかく大切で、そして、1年~5年生のみんな、おれと一緒にいてくれてありがとうございます。これからもがんばります!!!



2019 サッカーキャンプ

プレーだけではなく声を出してみんなを引っ張ってくれる頼もしいリーダーでした

ご家族(お母さま)から！  
陽太が年少の時にムサシに入りました。親から離れられる泣いてしまったり、自分が乗りこなせていない、コーチにたはめられながらチームを築いていく中で、仲間と仲良くプレーすることができるようになりました。ムサシは、とてもほめてくれるので、技術的に上手でなくても「声が出ていい」「みんなをまとめてくれてありがとう」と、陽太のモチベーションを上げてくれた、技術的にもチームの中心になって、ほめられたという気持ちが出てきました。9年間、毎週一緒に楽しく練習して仲間やムサシの事ばかりに集中して頑張っていました。

幼児クラスで

## 親子サッカー

を行いました



幼児クラスで、いつもは応援の家族の方も参加して毎年恒例の親子サッカーがおこなわれました。お母さんお父さんと一緒に普段アップで行うゲームなどを行い、親子で試合をしました。今年のテーマは「コレクティブ」ということもあり、子供達だけではなく大人のチームワークも魅せました！家族の方々にも一緒にプレーすることで成長を感じて頂けたと思います。



年会費の引き落としについて

3月30日の引き落とし(4月分月会費引き落とし)の際には、新年度の年会費も同時に引き落としとなりますので、ご準備をお願いいたします。

### ★卒業セレモニー★

各会場で卒業セレモニーを行っています。次のステージへと旅立っていく、最後までがんばり続けた6年生の仲間へセレモニーではムサシのカリキュラムを終えた証となる修了証とコーチのメッセージを書いた色紙をお渡します。

